

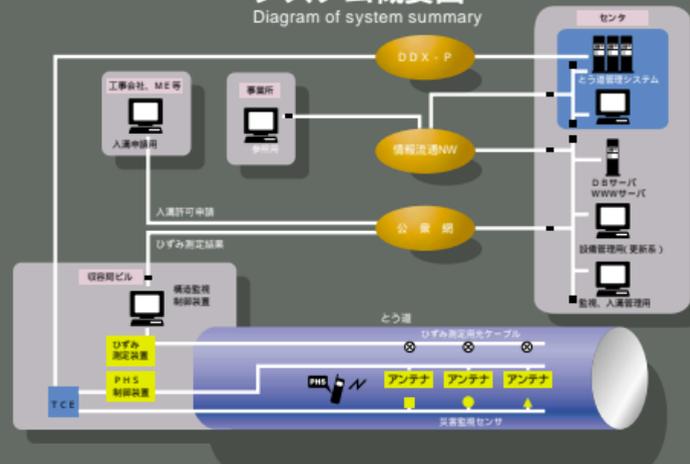
# とう道マネジメントシステム

Cable tunnel management system

とう道マネジメントシステムは、とう道設備の維持、管理、運用業務を一元的にサポートするシステムとして、ケーブル収容管理、とう道本体設備管理、とう道本体監視、とう道入溝者管理などの業務を改善するとともに、データベースを駆使した設備評価、タイムリーな保全・建設提案をすることができる。

## システム概要図

Diagram of system summary



TCE : とう道管理システム端末制御装置(Terminal switch Control Equipment)

## マネジメントシステムの機能

Management system functions

### 収容管理

とう道に関する全ての情報を電子ファイル化し、資料検索・参照の効率化と情報の共有化を図ります。また、ケーブル毎の収容位置管理およびケーブル整理・布設位置指定APにより、とう道内空間の活用を図ります。

### 設備管理

設備データ（本体、付属設備現況および不良設備データ）や補修履歴管理による補修工法、効果の確認の一元管理ができます。

### とう道本体監視

光ファイバセンサにより、とう道本体の変状を連続監視します。遠隔システムにより、各とう道を一元的に監視するとともに地図上において変状箇所の確認を可能とし、現場作業の省力化を図ります。

### 入溝者管理

とう道内PHSシステムに取りにより、入溝者管理の充実およびとう道内作業の効率化を図ります。また、インターネットの活用により、入溝申請・受付業務の効率化を図ります。

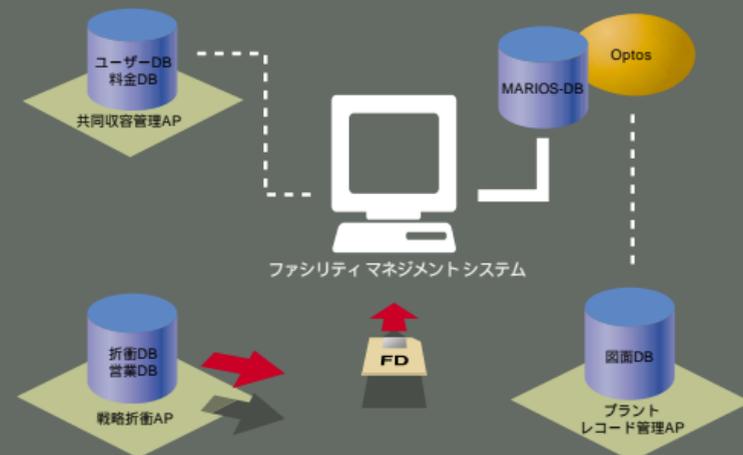
# ファシリティマネジメントシステム

Facility management system

各種社内データベースを活用して、基盤計画から維持・運用までの業務を支援する為に使用され1999年に導入された。アクセス系マネジメントシステム(MARIOS)プラットフォームの利用により、他システムとの接続を考慮した構成であり、グランドデザインや設備投資計画、保全計画などの業務を支援するアプリケーションで構成されている。

## システム概要図

System overview



## システムの機能

system functions

### グランドデザインサポートAP

- ・新規ルートを含めたGD登録機能
- ・基盤設備整備のプライオリティ付け機能
- ・ケーブル計画、社外工事計画、基盤整備計画登録機能

### スペースユーティリティAP

- ・共同収容ルートの自動選定機能

### 管路マネジメントAP

- ・プライオリティ付けによる点検・補修計画作成機能
- ・不良設備写真登録機能

### 地下ルート信頼性評価AP

- ・地震、地滑り、水害等災害に対するルート信頼性評価機能